

看護師

採用予定 看護師2人

受験資格 昭和45年4月2日以降に生まれた方で、看護師の資格を有する方(3月までの取得見込み含む)

【試験日時・会場】

- ▶ 1次試験…1月30日(日) 10時～・市役所
- ▶ 2次試験…1次試験合格者に通知します

【試験方法】

- ▶ 1次試験…教養・専門・作文試験、事務適性検査
- ▶ 2次試験…人物試験、健康診査

【応募方法】

申込用紙は総務課で配布。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して120円切手をはった返信用封筒(A4判)を同封。

【申込期限】

1月12日(水)。郵送の場合は同日の消印有効です。

総務課 ☎52-2112
〒028-8030
久慈市川崎町1-1

さむ～い
冬です

水道管 凍結に注意

【水抜きは全開・全閉で】
水道管は、気温がマイナス4℃以下になると凍結し、破裂する恐れがあります。冬季は不凍栓と水抜き栓の水抜きを行い、凍結と破裂を防ぎましょう。 ※水抜き操作は「全開・全閉」できちんといましょ

【解凍できない場合は】
もし水道管が凍結し、ご自身で解凍できない場合は、市指定給水装置工事業者に依頼ください。ただし解凍に要する費用はお客様の負担となります。

水道事業所 ☎52-2189

平成23年度の
申し込みだよ!



保育所の入所申し込み

園子育て支援課 ☎52-2169

▼受付期間

1月5日(水)～21日(金)

保育所(園)は、保護者や同居の親族が働いていたり、病気などのため保育できないときに、保護者に代わって児童を保育する、最も身近な子育て支援施設です。平成23年4月1日からの保育所への入所申し込みの受け付けを開始します。入所を希望する方は、次により申し込みください。入所申込書などの書類や入所案内は、各保育園と子育て支援課(市役所1階)で配布します。保育園の情報は市ホームページにも掲載してありますので、どうぞご覧ください。

▼受付期限1月21日

入所第1希望の保育園 ※市外の保育所への入所希望の方は、子育て支援課に申し込みください

▼提出書類

- ①入所申込書
- ②就労証明書 など

▼新規希望は面接も

平成23年度から新たに保育所への入所を希望する方には面接があります。

▼面接日時

1月31日(月)～2月4日(金) 9時～17時
※1月31日は18時30分まで

▼面接会場

子育て支援課

日本脳炎予防接種の特例

園保健推進課 ☎61-3315

9～12歳への特例

平成17年5月30日から接種を差し控えていた日本脳炎の予防接種は、新しいワクチンとなつて平成22年6月から順次、再開されました。

左表のとおり、予防接種の対象と回数は決められていますが、平成17年の接種中止に伴い、第1期の予防接種が受

日本脳炎予防接種の規定

	対象	回数
第1期	6カ月～7歳5カ月	3回
第2期	9歳～12歳	1回

※対象外の7歳6カ月～9歳未満の子どもが予防接種を受けようとする場合は自己負担になります。ご注意ください

2期接種は完了後

第2期の予防接種は、第1期3回の接種を完了した「9歳～12歳」の子どもが受けることができます。接種を希望する場合は、保健推進課までご連絡ください。

▼接種可能期間

第1期3回のうち不足分

▼対象

9歳～12歳

※第1期3回の接種が済んでいない子どものみ

▼接種可能回数

第1期3回のうち不足分

▼接種可能期間

第1期3回のうち不足分

三船十段記念館スポ少が東北大会3部門入賞

小・中男女 東北の舞台で大活躍



準決勝以上の戦績

- 小学生男子・第3位
準決勝×0-3 鶴田町柔道スポ少(青森)
- 小学生女子・準優勝
準決勝○2-1 北上修練館柔道スポ少(岩手)
決勝×1-1【内容】大崎柔道クラブ(宮城)
- 中学生男子・準優勝
準決勝○3-1 郡山市柔道会少年部(福島)
決勝×1-3 御野場柔道教室(秋田)

東北6県の代表チームが力と技を競う第30回スポーツ少年団東北ブロック柔道交流大会は11月28日、盛岡市で開催されました。三船十段記念館柔道スポーツ少年団(山下豊弘代表)は全4部門に出場し、小学生男子の部で第3位、小学生女子の部と中学生男子の部で準優勝。惜しくも優勝は逃しましたが、小学生、中学生の男女ともに東北の舞台で大活躍しました。

同大会は、はじめに2つのブロックに分かれて予選3試合を行い、各ブロック上位2チームが準決勝に進む仕組み。県予選では圧倒的な力をみせつけた同少年団ですが、他県の代表チームに比べると小柄で、苦戦も強いられました。しかし気持ち一つに相手に向かい、3部門で予選を突破。小学生女子の部決勝では、宮城県代表の大崎柔道クラブに競り負けるも1対1(内容差)の接戦を展開しました。小学生女子チームのポイントゲッターとして活躍した三浦七海さん(久慈小6年)は「準決勝では県予選で負けた相手に勝ったので、何とか優勝したかったです。2月は小学生最後の県大会。頑張つて優勝したいです」と力強く前を向いていました。

今後の県立高校に関する地域別懇談会

高校配置 住民の意見熱く



資料を基に状況を説明した上田課長(左)

おおむね10年後を見据えた県立高校の配置計画を盛り込んだ「第二次高等学校整備計画」の策定に向けて、県教育委員会と住民が意見を交わす「第2回今後の県立高校に関する地域別懇談会」は12月9日、合同庁舎で開催。管内から約30人が集まりました。はじめに上田幹也高校改革課長が、生徒数の減少や、小規模校の長所や課題などについて資料を説明し、「望ましいのは1校4から6学級。ただ、それ以下の高校をすべて統合するわけではありません。国の法律を基準としながら、県内の状況と皆さんの声も取り入れ、計画案を考えていきます」と理解を求めました。意見交換では「学校は地域



入念に配布資料に目を通す参加者

活性化の核。将来も残してほしい」「統合すれば保護者の経済的負担も心配」「地域の産業や経済状況なども考えて」など、高校統合を不安視する熱のこもった意見が参加者から寄せられました。最後に佐々木修一学校教育室長は「地域の実情など、貴重な意見をいただきました。ぜひ今後の計画策定の参考にさせていただきます」と、あいさつしました。

同計画は来年度に案を提示。秋ころの策定を目指して、再度、地域別の懇談会などで広く意見を聞く予定です。1月中は出前懇談会も開催中。詳しくはお問い合わせください。
園県教委学校教育室
☎019-629-6205